

令和3年度相談支援従事者専門コース別研修 企画案

東京都相談支援従事者研修検討会事務局

1 目的と対象

【相談支援従事者研修事業実施要綱より】

(目的) 地域の障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得すること及び困難事例に対する支援方法について助言を受けるなど、日常の相談支援業務の検証を行うことにより相談支援に従事する者の資質の向上を図ることを目的とする。

(対象) 指定相談支援事業所等において相談支援業務に従事しており、一定の経験を有する者

2 東京都の専門コース別研修の目的と獲得目標について

私たちが目指す相談支援専門員の姿（東京都相談支援従事者研修検討会作成）より

(受講者が目指すもの) 相談支援に必要なかつ専門的な知識と技術の獲得

(学ぶこと) 相談支援専門員として求められる最新の知識や専門的支援技術等

3 企画内容イメージ

(1) 実施方法 オンライン配信による講義

(2) 実施時期 令和3年12月中旬又は令和4年2月下旬に数日間の配信期間を設ける

(3) 定員 400名（修了者には、修了証書を交付）

(4) テーマ 意思決定支援

障害児・者の本人主体の暮らしの実現に向けて、相談支援専門員として、あらためて意思決定支援のあり様を考える。

4 内容の骨子（詳細は別紙のとおり）

(1) 大きく3項目に沿って講義を構成する。

- ・意思決定支援が求められてきた経緯を確認し、意思決定支援の基本を理解する。
- ・意思決定支援の前提となるコミュニケーションのあり方を考える。
- ・意思決定支援の実践例を聴く。

(2) それぞれの講義のねらいについて、受講者の理解を促すとともに、講義と講義の連続性を持たせるため、司会を兼ねたコーディネーターを置く。

時間	骨子	備考
5分	○事務連絡 ・オンライン受講に関する説明 ・コーディネーター紹介	事務局
5分	○開講挨拶 ・コーディネーター挨拶 ・相談支援従事者研修における専門コース別研修の位置づけについて説明 ・本研修でこのテーマを選んだ理由と獲得してほしいことについて説明	コーディネーター
60分	1 意思決定支援の基礎的な理解 ・意思決定支援が求められてきた経緯について ・意思決定支援の定義、要素について ・意思決定支援ガイドラインについて ・その他	
3分	・次の講義のねらいと内容紹介	コーディネーター
90分	2 当事者にとってのわかりやすさを追求する ① 意思決定支援を必要としている人とのコミュニケーションのあり方を考える。(知的障害) ② 意思決定支援を必要としている人とのコミュニケーションのあり方を考える。(発達障害)	
3分	・次の講義のねらいと内容紹介	コーディネーター
60分	3 実践報告 ・ある重度知的障害者の豊かな暮らしを支えている日々の意思の汲み取り ・1人暮らしの様子と支援の取り組み ・その他	
5分	○まとめ	コーディネーター

計 231 分